

## 野生スミレの 27 種が釧路地方に自生！

＝「釧路のスミレーフォト&ハンドブック」出版＝

佐藤照雄

2010年4月から一念発起して、釧路地方のスミレの分布調査と撮影に挑戦した。身近に咲く美しいスミレのことが知りたくて、過去の文献を調べたり植物の専門家に聞いても、ほとんど分からなかったからである。ならば自分で調べその成果をまとめ植物愛好者にも役立ててもらおうとガイド本の作成を決心したのだった。爾来、広い釧路地方の全市町村を対象に、釧路市音別町から浜中町に至る海岸地帯をはじめ、雄阿寒岳、摩周岳、西別岳などの低山、釧路湿原や霧多布湿原などの湿地帯、そして各地の林道や農道、さらには市街地や部落の公園などを隈無く歩きスミレの分布記録と撮影を行った。その調査期間は2017年までの8シーズンに亘り、確認地点は延べ1,070地点に及んだ。

その結果、釧路地方のスミレは野生種27種、外来種9種の計36種が生育していることが分かった。

そしてこの度、可憐に咲く美しい釧路のスミレと豊かな自然を多くの人たちに紹介しようと、前田一步園財団の自然環境保全活動助成金の採択を頂き「釧路のスミレーフォト&ハンドブック」の出版が実現したのだった。

このハンドブックは全カラーで156頁、スミレの魅力を引き出して美しい写真で構成したのをはじめ、スミレ初心者のために種ごとに特徴や識別のポイントを分かり易く解説し、さらに野外での持ち運びが容易なコンパクトなサイズでビニールカバーを付けたことなどが本の特徴である。

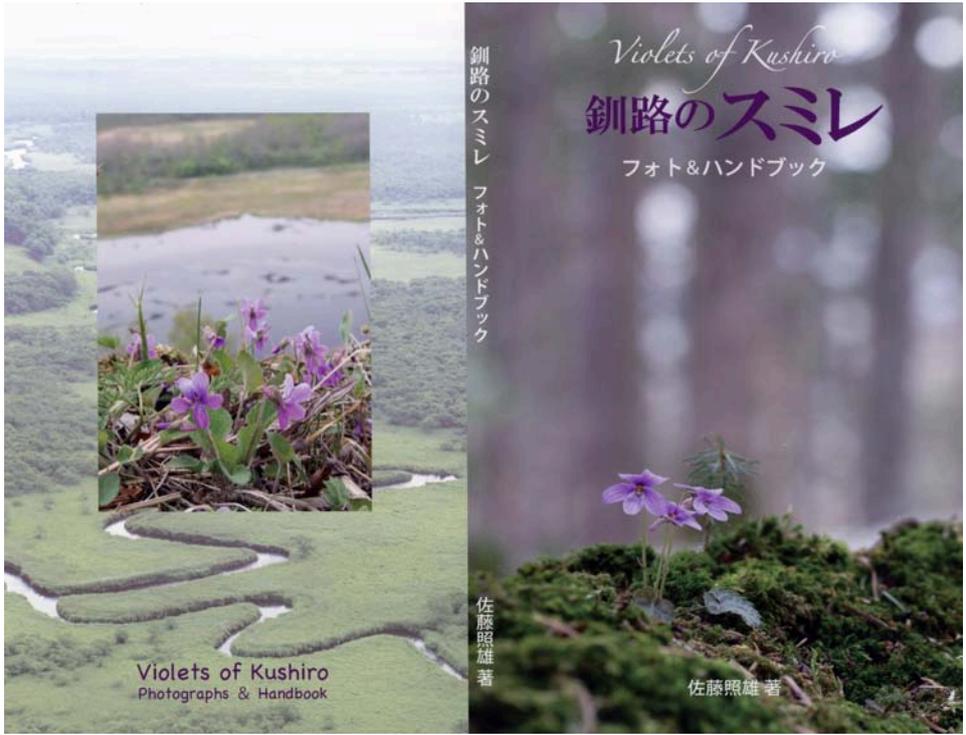
本の内容は、日本や北海道のスミレ総数と釧路地方の分布の解説、スミレの見分け方の説明、釧路地方海岸地帯のスミレ17種、釧路湿原国立公園のスミレ13種、阿寒摩周国立公園のスミレ16種を初めて写真で紹介したのをはじめ、全36種の顔、拓葉、葉、果実など詳しい写真と解説を掲載した。また、巻末には「写真で観るスミレの繁殖技」のページで蟻との共存関係の解説や北海道スミレ科植物目録を掲載している。この冊子を通して、釧路の自然の豊かさや価値を再認識され、身近な郷土の野生スミレの魅力を再発見に役立つよう多くの人たちに活用していただければと願っている。また、5月にはハンドブックの出版と実際の生育地を知っていただくために、多くの市民を対象にスミレの群生地が多い鶴居村で観察会を開催します。

なお、この本は釧路、根室、十勝、オホーツク管内の全図書館、公民館図書室、博物館、ネイチャーセンターなどの社会教育施設、および釧路管内の全中学校、高校、大学の図書館などに寄贈した。また、一般の市民や旅行者などの希望者が購入できるよう釧路市立博物館、道立釧路芸術館、温根内ビジターセンター、霧多布湿原センターなどで、1冊1,000円で販売し、自然保護活動などに活用していただくために売り上げ金の全額を寄付した。

地元以外の購入希望者は、ゆうちょ銀行の振込用紙で、口座記号・番号「02700-6-11796」、加入者は「佐藤照雄」あて送金していただければ、すぐに送本いたします。

頒価 1冊 1,000円（税込み）、送料は2冊まで180円。

表紙と裏表紙



阿寒摩周国立公園のページ

イソスミレのページ



サクラスミレ図鑑のページ

スミレ観察会のリーフレット

